

纖維状物質研究

FIBROUS MATERIAL RESEARCH

纖維状物質の安全衛生専門誌

VOL.6 2019



一般社団法人 日本纖維状物質研究協会

JAPAN ASSOCIATION for the STUDY of FIBER MATERIALS

繊維状物質研究 CONTENTS vol.6 2019

繊維状物質の安全衛生専門誌

☆巻頭言	人々の健康と地球環境を守る	柴田 真利	1
☆講座 1	環境空気中のアスベスト濃度測定方法	神山 宣彦	2
☆講座 2	ナノ粒子とは何か?	小野真理子	9
☆講座 3	アスベストの発見からアスベスト使用の歴史	朝賀 光	17
☆特集	石綿含有建築用仕上塗材除去工事における剥離剤使用時の呼吸用保護具の問題点と適切な選定・使用方法について	石川 健彦, 渡辺 雅之	23
☆解説 1	労働安全衛生施行令, 石綿障害予防規則等の改正 (平成 30 年 6 月 1 日施行) による石綿分析用試料等の取り扱いの見直しについて	小林 弦太	26
☆解説 2	位相差分散顕微鏡の調整方法と基本的なメンテナンス	川島伸次郎	34
☆解説 3	位相差顕微鏡の調整方法と基本的なメンテナンス	田中 隆明	43
☆解説 4	アスベスト繊維の細胞傷害性 T 細胞の分化・増殖に及ぼす影響	大槻 剛巳	55
☆短報 1	層状物質に対する微小範囲照射する X 線回折法の有効性について	中元 章博	61
☆短報 2	イオン液体を用いた気中アスベスト濃度測定 (A-SEM 法) のフィルター試料の前処理方法	河野 光雄	64
☆短報 3	位相差顕微鏡対物レンズ (DLL, DM, BM) を併用した位相差・分散顕微鏡によるアスベスト, RCF 分析時の観察精度向上について	小西 淑人	69
☆短報 4	手持ち式アスベスト分析計 (microPHAZIR-AS) の性能評価	小西 雅史	75
☆短報 5	JIS T 8115「化学防護服」タイプ 5 適合品に必要な条件	磯田 実	80
☆会社(研究室)紹介	中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター		85
☆表彰・受賞者	平成 30 年度建築物環境衛生功労者の厚生労働大臣表彰		86
☆学会報告 1	第 91 回 日本産業衛生学会報告	中村 憲司	87
☆学会報告 2	第 58 回 日本労働衛生工学会・第 39 回 作業環境測定研究発表会参加報告	田村三樹夫	90
☆学術集会報告	第 6 回 日本繊維状物質研究学術集会参加報告	渡邊 雅之	92
☆セミナー報告 1	第 8 回 日本繊維状物質研究セミナー参加報告	渡邊 雅之	97
☆セミナー報告 2-1	第 9 回 日本繊維状物質研究セミナー参加報告	渡邊 雅之	98
☆セミナー報告 2-2	第 9 回 日本繊維状物質研究セミナー (実技講習) を受講して	森 浩	101
☆セミナー報告 2-3	第 9 回 日本繊維状物質研究セミナー (実技講習会) を受講して	藤林 大輔	102
☆セミナー報告 2-4	第 9 回 日本繊維状物質研究セミナー (実技講習) を受講して	三木 孝司	103
☆セミナー報告 2-5	第 9 回 日本繊維状物質研究セミナー (実技講習会) を受講して	佐藤 祐一	104
☆文献紹介		106
☆会告	第 7 回 日本繊維状物質研究学術集会の案内		108
☆会告	投稿規程		115
☆会告	原稿募集・会員募集案内		119

♪表紙デザイン バサルトウールのSEM画像 提供 神山宣彦

表紙写真のバサルトウールは、天然岩石の玄武岩 (バサルト) を高温で溶解したものを多数の小さな穴をあけた円形スクリーンから遠心力で噴き出させて綿菓子のようにつくったもので、ロックウール (岩綿) の名称の由来となったものである。日本では玄武岩の代わりに溶鉱炉でできる鉱滓から作ったものをロックウールとかスラグウールと呼んで、耐火吹付けや断熱材等に広く使用している。写真の太い繊維は直径が0.01mm (10 μ m) 以上の非吸入性繊維だが、数 μ m以下の細い吸入性繊維も少し存在している。ロックウールは、酸性溶液に溶けやすく体内耐久性が低いため、発がん性はほぼないとされている。